



## 編集後記

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-04-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 森岡, 次郎 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10466/15290">http://hdl.handle.net/10466/15290</a>

## 編集後記

『人間科学』の第12号をお届けいたします。今号は6本の論文を掲載することができました。執筆者の方々には、貴重な研究成果をご寄稿いただき、ありがとうございました。

今号より投稿規定を整理し、教員によるピアチェック（査読）が編集工程に加わりました。今号からは、同僚や近接領域の研究者によるチェックを経た論文が掲載されています。ピアチェックの労を執られた先生方にも、重ねてお礼申し上げます。

編集担当者としては、論文のメ切から入稿までの間の作業が増加して大変なのですが、ピアチェックを初めて実施してみて、それなりの意義を感じることができました。

その一つは、論文の内容や主張に問題がないか、盗用や剽窃がないか、研究公正や著作権に関することを事前にチェックすることができる、ということなのですが、こうしたことは、これまでも、これからも、『人間科学』にご投稿いただく同僚諸氏の識見を信頼していますし、個人的にはあまり心配をしていません。

それよりも、同じ職場で働く同僚を最初の読者に想定して論文を書く、同僚の論文の最初の読者になる、というプロセスが加わったことの方が、意義深いように思います。お互いの、最新の問題関心や研究成果を共有し、コメントし合う関係を作り出すことが、研究紀要という雑誌の果たす大きな役割だと、改めて感じることができました。

2018年度の研究科改組に向けて、2017年度には今後の紀要のあり方についても検討していくことになります。とはいえ、次号（13号）までは、これまで通りに公刊する予定です。

今後、本誌がどのような形になっていくのかはわかりませんが、いずれにしても、投稿資格や論文の形式などについては、これまで出来ていたことが出来なくなる、ということはありません。引き続き、ふるってご投稿ください。

この雑誌が充実し、私たちの研究がより豊かに発展していくためにはどうすれば良いか、考え続けていきたいと思います。

（文責 森岡次郎）